



築山が大好きな子どもたち よしかわエンゼル保育園を訪問

吉川団地保育園から3月1日、木壳新田に移転・新築開園したよしかわエンゼル保育園を5月3日党議員団で訪問させていただきました。渋谷理事長さんと園長先生から説明と施設を案内していただきました。子どもたちは園庭でのびのび遊んでいて、特に築山が大好きとのこと。保育室がとても広く、天井が高いので開放感がありました。定員140名のところ123人が通園しています。子どもたち一人ひとりが、「愛されている自分」を感じる保育を理念としています。



用水路の蓋掛けと 横断歩道の設置要望受け

自転車やバスで通園する方々の安全のために道路北側の用水路にフタがけ、南側歩道から横断するための横断歩道設置の要望が話されました。市に要望させていただきました。



「働き方改革」 やめさせよう！ 越谷地区メーデー 550人参加



メーデーに参加した党議員

* 国民をウソで欺き、労働法制改悪や9条改憲に突き進む安倍政権を退陣に追い込もうと5月1日、10時からサンシティ越谷市民ホールで越谷地区メーデーが行われました。

日本共産党からは金子まさえ県議、越谷市議団、松伏町議団、吉川市議団の小林議員、雪田議員、佐藤議員が参加しました。

来賓挨拶で金子県議は、「安倍首相は世界で一番、企業が活躍できる国を目指している。いまこそメーデーの原点である8時間労働制を求めていく時です」と述べました。

* メーデーでは、安倍働き方改革を許さず8時間働けば暮らせる社会の実現を求める決議など3本の決議が採択されました。

またメーデー宣言では、最早安倍政治を許すことはできません。市民と野党の共闘を一層進め国民世論により安倍首相を辞させようではありませんかと呼びかけました。

参加者は集会終了後、越谷市民ホール前から新越谷東口前までパレードを行いました。非正規労働者の雇用の安定をはかり誰もが時給1500円以上を実現させよう。9条改憲を許さず、日本の平和を守ろうなどと市民にアピールしながら行進しました。

ご意見・ご要望等 お気軽に寄せください

日本共産党吉川市議団

電話 981-5160

小林あき子

電話 981-7027



日本共産党 小林あき子議員ニュース

2018年5月号

おかげさまで

ご意見・ご相談は

電話 048-981-7027

携帯 090(5564)7149



市議団
▼
つはーとふるぽ
の前の前で
党ば

予算否決されたのになぜ閉店? おあしす軽食喫茶 はーとふるぽっと

障がい者B型就労事業所(*)
はーとふるぽっとが4月末で閉店しました。

3月議会で「おあしす改修計画」予算(8703万円)が市長から提案されましたが、市民の会・無所属、自民党、日本共産党によって否決されました。

「予算が否決されたのなぜ」という市民からの疑問の声が寄せられています。日本共産党市議団は市の説明を求めるとともに、フレンドパークにもお話を聞きました。

(右の「10か月間のながれ」を参照して下さい)

3月議会直後の3月22日、市はフレンドパークに対し、「議会で予算が凍結されたが市の方針は変わらない」との見解を伝えています。議会では「凍結」したのではなく「否決」したのであり、市の姿勢は議会軽視と言わざるを得ません。

* 通常の事業所に雇用されることが困難であり、雇用契約に基づく就労が困難である者に対する、就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供その他就労に必要な知識及び能力の向上のためには他の必要な支援を行う。



【10か月間のながれ】

■ 昨年5月30日、市長から新庁舎の整備と併せておあしすの再構築の考えが伝えられ、子育て支援センターを「はーとふるぽっと」の場所に移設、「はーとふるぽっと」は障がい者の就労支援をより一層推進するために、良い形を目指していきたい旨の説明がある。

■ 市と施設ではーとふるぽっと運営促進協議会が作られ協議を進めてきた。保護者会アンケートでは58%の反対がある中、新庁舎3階で弁当やコーヒー販売等の検討を進める。

■ 3月議会後、市からの「議会でおあしす改修予算は凍結となったが、市の方針は変わらない」との見解に、理事含め存続するか検討。その結果、今後いつまでおあしすにいられるのか見通しが立たないと判断。前向きに取り組み、新庁舎での事業参入をすべく閉店を保護者会に連絡する。

問われる 障がい者福祉への姿勢

移転理由として議会で説明した弁当、コーヒー販売等で工賃アップするのか不安は大きい。はーとふるぽっとは多くの市民に親しまれており、市民交流の拠点・おあしす入口にあることが大事なことといえます。

5月7日
吉川市役所
新庁舎が
オープン



新庁舎前で開庁式

新庁舎の開庁式には早朝にも関わらず、栄小学校の6年生の代表者や多くの市民が参加し、賑やかな開庁式となりました。テープカットの掛け声に合わせて手を離した数多くの風船が、新庁舎のもとでの吉川市の発展を願うように一斉に大空高く舞い上がりました。